

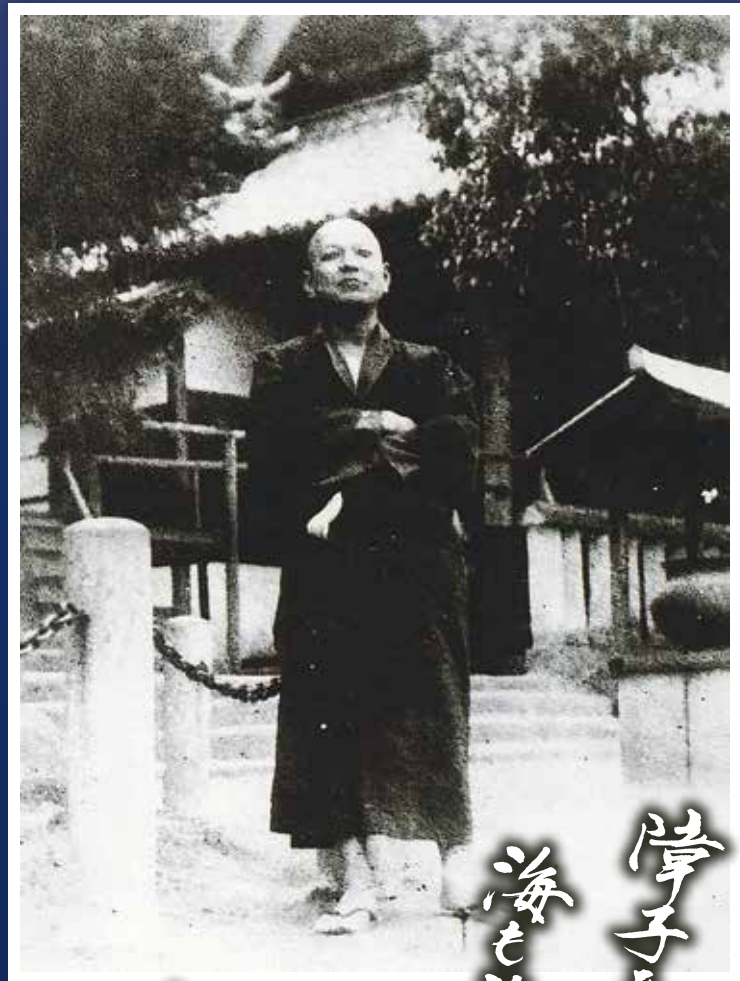
吉村 昭

「海も暮れきる」

— 俳人、尾崎放哉を見つめて —



「私は書いている間、ずっと放哉でした」 吉村昭



学子あけて置く
海も暮れ切る
放哉

吉村昭書

2019年 10/13 | 日 |



12/18 | 水 |

吉村昭記念文学館

- ◆ 開館時間 / 9:30 ~ 17:00 (常設展示は 20:30 まで)
- ◆ 休館日 / 10月17日(木)、11月21日(木) 12月6日(金)
- ◆ 入館料 / 無料
- ◆ 会場 / ゆいの森あらかわ 3階 企画展示室
- ◆ 主催 / 荒川区 吉村昭記念文学館

〒116-0002 東京都荒川区荒川二丁目50番1号
Tel 03-3891-4349 Fax 03-3802-4350
<https://www.yoshimurabungakukan.city.arakawa.tokyo.jp/>

(写真左) 吉村昭「海も暮れきる」執筆の頃昭和53年 写真提供 筑摩書房
 (写真右) 尾崎放哉 須磨寺にて大正13年頃 写真提供 鳥取県立図書館
 (吉村昭書) 「障子あけて置く海も暮れ切る 放哉」写真提供 小豆島尾崎放哉記念館
 (引用文) 吉村昭 講演「尾崎放哉と小豆島」(『私の好きな悪い癖』平成12年 講談社)

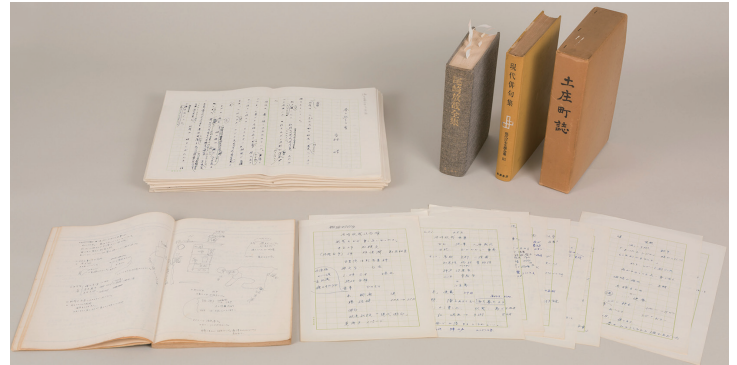
吉村昭「海も暮れきる」

— 俳人、尾崎放哉を見つめて —

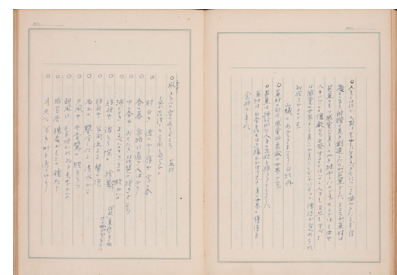
「咳をしても一人」「入れものが無い両手で受ける」などの句で知られる自由律の俳人、尾崎放哉（明治18年—大正15年）。吉村昭は、長篇小説『海も暮れきる』（昭和55年 講談社）で、放哉が、香川県小豆郡土庄町で過ごした最晩年の8か月に焦点を当て、その生と死を描き出しました。

中学2年で肋膜炎を患った吉村は、旧制学習院高等科に進学後、二十歳の時、肺結核の悪化により咯血し、絶対安静の身となりました。毎日に病勢が進み、死を強く意識した病床で、自らと同じ病により生涯を終えた放哉の句にふれ、深い共感を覚えました。「海も暮れきる」では、自身の闘病体験を踏まえて、放哉の内面を掘り下げています。

吉村は、放哉の句に「死とはなにか生とはなにかという問い」を見出しました。本展では、初公開を含む収蔵資料と、妻で作家の津村節子氏が所蔵する資料を中心に紹介します。どのように放哉の実像に迫り、生と死の問いを追究したのか、日記帳や、旧蔵書の書き込み、自筆資料の推敲跡などをたどり読み解きます。また、29年間にわたり、吉村が、津村氏や親しい画家、編集者たちと催した句会「石の会」（のち「狐火の会」）に関する資料も紹介します。



自筆資料や旧蔵書などの「海も暮れきる」に関する収蔵資料（一部）。



初公開
吉村昭の日記帳 昭和26年 津村節子氏蔵



（左）吉村昭 句集『災』（昭和62年私家版）
（右）津村節子 句集『花野』（昭和63年私家版）
津村節子氏蔵

関連イベント

朗読会「海も暮れきる」とトーク

「海も暮れきる」を原作とするドラマ「海も暮れきる—小豆島の放哉—」（昭和61年 NHK松山放送局）で尾崎放哉を演じた橋爪功氏による朗読です。親交が深かった吉村昭との思い出も語っていただきます。また、吉村のインタビューを含むドラマ紹介映像（約15分）も上映します。

出演：橋爪 功氏（俳優）

日時：10月14日（月・祝）14時から16時（開場13時30分）

会場：サンパール荒川 3階 小ホール

定員：220名 応募多数の場合抽選となります。

当選者のみ10月8日（火）までにハガキでお知らせします。

参加費：無料



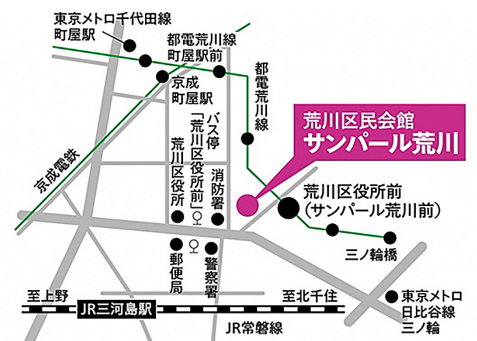
橋爪 功氏

申し込み方法

申し込み期間：9月11日（水）から9月30日（月）まで。

ゆいの森あらかわ1階総合カウンター、ゆいの森あらかわHP【<https://www.yuinomori.city.arakawa.tokyo.jp/>】、またはFax（03-3802-4350）【参加者氏名（2名まで）、代表者の郵便番号・住所・電話番号】でお申込みください。

朗読会とトーク会場アクセス



- ▶ 都電荒川線（東京さくらトラム）荒川区役所前下車 徒歩2分
- ▶ JR 日暮里駅東口より都バス「里22」亀戸行き→荒川区役所前下車 徒歩2分
JR 西日暮里駅より「草63」浅草寿町行き→荒川区役所前下車 徒歩2分
- ▶ 東京メトロ日比谷線 三ノ輪駅下車 南千住方面改札を出て明治通りを王子方面へ徒歩12分（荒川警察署向い）

展示解説：11月13日（水）、12月14日（土）

いずれも14時から3階企画展示室で開催（30分程度）

参加費無料、定員15名程度（9月11日（水）から申込み順）

申し込み方法：ゆいの森あらかわ1階総合カウンター、

ゆいの森あらかわHP【<https://www.yuinomori.city.arakawa.tokyo.jp/>】、またはFax（03-3802-4350）【参加希望日、参加者氏名、代表者の郵便番号・住所・電話番号】でお申込みください。



展示会場アクセス

- ▶ 都電荒川線（東京さくらトラム）荒川二丁目（ゆいの森あらかわ前）下車徒歩1分
- ▶ 東京メトロ千代田線・京成線 町屋駅下車徒歩8分
- ▶ コミュニティバスさくらゆいの森あらかわ下車（土日祝のみ）

吉村昭記念文学館

【お知らせ】吉村昭記念文学館友の会の会員を募集しています。詳細は、お問い合わせください。